

令和6年度
価値共創促進事業の選定結果について
(答申)

令和6年12月
府中市市民協働推進会議

令和6年4月26日付けで、高野市長より諮問を受けた事項のうち、価値共創促進事業の選定結果について、ここに、答申として提出いたします。

府中市市民協働推進会議	藤江昌嗣
会長	青山亨
副会長	伊沢美由紀
委員	井上雅允
同	坂牧早苗
同	鈴木琢真
同	関谷昂
同	花岡麻穂子
同	森田美千代
同	山岡法次
同	山根浩子

目次

1	価値共創促進事業について.....	1
2	交付予定事業候補選定のながれ.....	1
3	選定結果.....	2

参考資料

- 1 市民協働推進会議協働事業選定・評価部会 価値共創促進事業採択者審査基準

1 価値共創促進事業について

価値共創促進事業は、地域課題や社会的な課題の解決に向けて、市民と市が協働・共創し、市民生活の向上に繋がる新たな価値を提供し得る事業を、市民の皆様からご提案いただく制度です。

この価値共創促進事業は、フリー型価値共創促進事業と、テーマ型価値共創促進事業があり、フリー型価値共創促進事業は、市民の自由な発想に基づき提案できるもので、テーマ型価値共創促進事業は、市が掲げたテーマに基づき事業を提案できるものです。

2 交付予定事業候補選定のながれ

令和6年9月15日（水）から10月31日（木）までに提案のあった2事業について、12月19日（木）に、審査会を実施しました。

審査会では、提案団体による公開プレゼンテーションと質疑応答を行った後、府中市市民協働推進会議の委員で構成する「市民協働推進会議協働事業選定・評価部会（以下「部会」といいます。）」と、オブザーバーとなる外部の価値共創アドバイザー及び市民協働推進部長、協働共創推進課長との意見交換を経て、部会による審査を行い、令和6年度価値共創促進事業の候補事業として選定しました。

【市民協働推進会議協働事業選定・評価部会員】

役職	氏名
部会長	鈴木 琢真
委員	伊沢 美由紀
委員	山根 浩子

【オブザーバー】

所属	氏名
(特非) N P O サポートセンター	小堀 悠
府中市市民協働推進部長	山下 隆久
府中市市民協働推進部協働共創推進課長	小塚 栄志

3 選定結果

当会議が行った、令和6年度価値共創促進事業選定結果については、次のとおりです。

No.	事業名	団体名	市担当課	実施内容	申請方法	総事業費 (委託料)	選定結果	採択に当たっての意見・要望等
1	デフリンピック認知度向上及び聴覚障害理解促進に係る動画制作事業	株式会社京王エージェンシー	文化スポーツ部 スポーツタウン推進課 福祉保健部 障害者福祉課	市在住の聴覚障害者の生活や、市にゆかりのあるデフアスリートの活動、健聴者との交流の様子などを題材として啓発動画を制作・配信する。動画視聴をきっかけとして、聴覚障害に関する理解促進と、デフリンピックの認知度向上を目指す。	テーマ型	2,000,000円 (2,000,000円)	採択	<ul style="list-style-type: none"> ・国際的な総合スポーツ大会であるデフリンピックを盛り上げるため、多言語（英語・中国語など）に対応した動画とすること。 ・動画制作後の周知啓発に当たっては、市内外の京王線各駅舎のツールを活用するなど、市外からの来訪者を含めたPRをしてほしい。 ・動画制作後は、動画制作時と同様に様々な主体と協働（連携・協力）して、市内外にも広くPRすること。 ・動画制作に当たっては、単なる宣伝ではなく、視聴者の感情に訴求し、デフリンピック競技の観戦や聴覚障害理解への強い動機づけとなるよう留意すること。
2	子どもたちからの『ミライをつくるアイデア』を具現化！ 暗くて怖い道を明るくて楽しい空間へ	テルウェル東日本株式会社	政策経営部 政策課	ナイトコンシェルジュ（最新の蓄光テクノロジーとデザインが融合したライティングメディア）の設置により、環境にも配慮して暗い夜道を明るくするとともに、楽しく歩ける空間にする。	テーマ型	1,496,000円 (1,496,000円)	採択	本事業を実現した際には、事業実施に限定したPRではなく、きっかけとなった「子どもたちからのミライをつくるアイデア」の募集から提案、事業実現までの一連の背景を含め、協働による取組の過程と成果を広くPRすること。

令和6年度価値共創促進事業審査 点数表

評価項目		地域課題の 明確性	共創の必要性	公益性・ 社会的インパクト	斬新性	実現可能性	妥当性	合計点	割合	可否審査		
No	団体名	事業名	点数	点数	点数	点数	点数			可/否	割合	
1	株式会社 京王エージェンシー	デフリンピック認知 度向上及び聴覚障害 理解促進に係る動画 制作事業	25	25	22	21	25	20	138	77%	可	100%
2	テルウェル東日本 株式会社	子どもたちからの 『ミライをつくるア イデア』を具現化！ 暗くて怖い道を明る くて楽しい空間へ	22	24	20	22	28	19	135	75%	可	100%

参考資料

市民協働推進会議協働事業選定・評価部会 価値共創促進事業採択者審査基準

審査項目	審査の視点	満点
の地域課題 明確性	地域課題をデータ等により具体的に認識・分析し、市民や地域のニーズを的確に捉えているか。	10
	行政単独では解決できない課題が明確に存在するか。	
共創の 必要性	市にとって共創する意義があり、課題解決のために市が関わることがふさわしい事業か。	10
	団体と市との役割分担が明確かつ妥当なものであるか。	
	行政では従来にはない解決策であると認められるか。	
公益性・社会的 インパクト	特定の人々の利益ではなく、不特定多数の市民の利益又は社会全体の利益に寄与するか。	10
	事業を共創することにより、(一定程度)社会変革に寄与することが期待できるか。	
	ロジックモデルの内容が妥当(実現可能性、ロジックに矛盾がないか)であるか。	
斬新性	新しい視点と創意による要素が盛り込まれた事業か。	10
	事業の発展性や将来性が期待できるか。	
	市にとって新たな取組であり、何らかのイノベーション創出につながるか。	
実現可能性	目標が明確で、達成が見込める(無理のない)計画となっているか。	10
	計画を実現できる体制(人材面・資金面)を有しているか。	
	提案書や提案説明で、事業のポイントや団体の熱意を的確に伝えられているか。	
妥当性	費用対効果の視点で、市の委託事業として妥当であるか。	10
	令和6年度中に緊急で実施すべき事由があると認められるか。	
合計		60

2 採点基準

満点	特に良い	良い	普通	やや劣る	劣る	評価対象外
10点	10・9点	8・7点	6・5点	4・3点	2・1点	0点

※各審査員が「可」または「不可」を判定します。

一つの審査項目につき、10点満点の計60点とし、各審査員がそれぞれ採点を行います。全審査員の合計点を審査の点数とし、審査の点数が6割を超え、かつ「可」が過半数を超えることを審査通過にあたっての最低基準とします。